

2 沿革

昭和34(1959)年 8月	精神衛生法第4条の規定に基づき開院（病床数 100床）
37(1962)年 8月	病床数を100床増床 計200床
40(1965)年 4月	地方公営企業法の財務規定等の一部適用
42(1967)年 3月	作業治療棟竣工
48(1973)年 3月	看護職員公舎竣工
8月	プール竣工
50(1975)年 3月	営繕作業室竣工
53(1978)年 3月	市営水道敷設
54(1979)年 3月	給食棟竣工
55(1980)年 3月	医師公舎竣工
61(1986)年 3月	保護室3床増床 計203床
63(1988)年 8月	施設の全面改築工事に着手
平成元(1989)年10月	病棟・エネルギー棟竣工 計255床
11月	アルコール診療開始
	緊急措置患者(休日・夜間)受入れ開始
2(1990)年10月	管理診療棟竣工
3(1991)年 3月	デイ・ケア診療開始
4(1992)年 9月	応急入院開始
6(1994)年 4月	緊急医療の拡充、平日の措置患者受入れ開始
7(1995)年 4月	社会復帰科新設
9(1997)年 4月	栄養管理課新設
12(2000)年 4月	精神科救急医療開始
15(2003)年 4月	薬剤科新設
16(2004)年 1月	精神科救急入院料施設基準適用（第1病棟）
3月	協力型臨床研修病院に指定
17(2005)年 7月	心神喪失者等医療観察法による指定通院医療機関に指定
9月	心神喪失者等医療観察法による鑑定入院医療機関に登録
11月	病床数変更 249床
21(2009)年 4月	医事栄養課を設置（医事課と栄養管理課を統合）
	リハビリテーション科を設置（生活療法科とデイ・ケア科を統合）
	岡本台病院経営改革プランによる経営改善開始
22(2010)年 3月	エネルギー棟熱源ボイラー更新工事（A重油から都市ガスに切換）
	電話交換機更新（ポケットベル方式からPHS方式に変更）
11月	外来再診患者の時間予約制を導入
23(2011)年 1月	病院空調設備一式更新
2月	給食棟等の燃料を都市ガスに切換
3月	給食棟改修
	東日本大震災による被災（作業療法棟ほか）
11月	医療観察法病棟整備のための解体工事を実施

24(2012)年 1月	第1病棟屋上防水改修実施
25(2013)年 1月	作業治療棟の耐震改修(大規模改修を含む)実施
2月	医療観察法病棟(第7病棟)竣工
4月	精神科救急情報センターが精神保健福祉センターへ移管
6月	医療観察法病棟(第7病棟)が開棟 病床数変更 267床
12月	第1病棟、第2病棟及び第3病棟の個室化工事を実施
26(2014)年 3月	電子カルテシステムを導入
10月	第1病棟の保護室改修工事を実施
27(2015)年 6月	第5病棟の改修工事を実施
7月	第6病棟休床(46床)
	一般病棟の保護室改修・機械設備工事を実施
11月	外来駐車場の増設工事を実施
28(2016)年 4月	病床数変更 221床
	熊本地震被災地へ災害派遣精神医療チーム(以下、「DPAT」)を派遣
10月	防災盤更新工事を実施
29(2017)年 1月	管理診療棟1階外来男子トイレ・女子トイレ洋式化工事を実施
3月	那須町スキー場雪崩事故発生に伴いDPATを派遣
4月	経営改革プラン(第3次)計画期間(～令和2年度)
6月	「これからの岡本台病院のあり方に関する検討会」の設置
30(2018)年 2月	エネルギー棟非常用電源装置改修工事を実施
31(2019)年 3月	一般病棟屋上防水改修工事を実施
令和元(2019)年10月	台風19号により被災した県下の精神科病院にDPATを派遣
2(2020)年 2月	中国武漢市からの帰国者等の精神的ケアのためDPATを派遣
3月	受水槽及び高架水槽その他更新工事を実施
	給食棟男子トイレ・女子トイレ、第1病棟女子トイレ洋式化工事を実施
3(2021)年 2月	依存症患者を対象とした外来プログラムを開始
3月	依存症専門医療機関(アルコール健康障害・薬物依存症)に選定
4月	精神科専門研修プログラムの基幹施設として専攻医の受入れを開始
4(2022)年 2月	第5病棟休床(56床)
3月	第1病棟の保護室改修工事を実施
4月	地方独立行政法人に移行
	経営企画室、研修指導室及び地域連携室を設置
7月	精神科急性期治療病棟入院料施設基準適用(第3病棟)
6(2024)年 1月	精神科薬物療法専門医制度における精神科薬物療法研修施設に認定
	能登半島地震被災地へDPATを派遣
3月	依存症治療拠点機関(アルコール健康障害・薬物依存症)に選定
	依存症専門医療機関(ギャンブル等依存症)に選定
7(2025)年 2月	依存症治療拠点機関(ギャンブル等依存症)に選定
3月	日本精神科救急学会認定施設に認定